

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	良く なっている	スーパー（総務 担当）	来客数の動き	・天候にも恵まれ、来客数は前年同月比で3%ほど伸びている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・普段は我慢している人も夜の街に出てきて、タクシー利用客数は増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会シーズンに入り、2週目ごろからエンジンが掛かり始めた。14日と連休前の21日の金曜日をピークに、28日の金曜日もあるほどの客であった。30日の日曜日、駅前のデパートの買物客で大変にぎわい忙しかった。31日も初詣の客が相当多いと見込まれ、本当に多忙である。
やや良く なっている		商店街（代表 者）	お客様の様子	・皆明るく、前向きに買物しているように見える。新政権に期待しているのではないかと。
		一般小売店〔土 産〕（経営者）	販売量の動き	・新商品の発売もあってか、売上は堅調に伸びている。
		一般小売店〔土 産〕（経営者）	来客数の動き	・総選挙の結果が鮮明になり、観光客の気持ちは明るくなっている。今月は後半の動きが良くなっている。
		一般小売店〔酒 類〕（経営者）	お客様の様子	・12月最終週の飲食店への客の流れは、この数年間で最も良くなっている。また、1月以降に料飲店を新規開業するとの相談もある。
		百貨店（営業企 画担当）	単価の動き	・クリスマス商戦は、比較的好調に推移している。来客数は前年並みであるが、ギフト関連商品では高額品の動きが良い。
		スーパー（店 員）	販売量の動き	・鍋物野菜を中心に、牛肉などの販売量も、初秋に比べるとやや増加傾向にある。総選挙の結果、政権交代することになり、客の話題にも明るさが見える。
		スーパー（販売 担当）	販売量の動き	・3か月前よりは売れている。
		スーパー（商品 開発担当）	販売量の動き	・気温の低下により、衣料品が好調である。また、野菜の売上が価格上昇に伴い前年並みに回復するなど、全体的に前年を上回っている。牛乳等の値下げした商品群の単価は低下しているが、販売数量は伸びており、プラスになるカテゴリーが増えてきている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・年末を控えて、クリスマス、年末の大掃除、会社の仕事納め等で、来客数は3か月前と比べて多くなっている。売上単価もそれなりに上昇している。
		住関連専門店 （営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要と思われるリフォームやインテリアの物件が、小型ながらも動き始めている。新築住宅やマンションについても、駆け込みを目指して計画が進んでいる。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・忘年会シーズンでもあり、多くの来客数がある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前と比べて、良くなっている。ただし、忘年会シーズンということもあり、前年同月と比べると決して良くはない。
		通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・新規契約数はあまり伸びていないものの、解約数が少なくなっている。
		通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・先月に続き、ハイスペックの光回線の値下げと、新しく始まった割引サービスに伴い、光回線の申込件数が増えている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて、大口の受注もあり、少しではあるが良くなっている。
		美顔美容室（経 営者）	来客数の動き	・年内にもう一度手入れしたいという客が多く、来客数は増えている。
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・客の話を聞いていると、忘年会や正月休みの海外旅行等のレジャー面で、お金を使うという人が多い。
住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・消費税増税が間近に感じられるようになり、ギリギリになって駆け込む危険を感じた客は、余裕を持って検討し始めている。		
変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・年末のため忙しいが、後半は少し伸び悩んでいる。詳しい原因は分からない。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・年末の書き入れ時であるが、動きは非常に少ない。前年末も良くなかったが、今年は更に良くない。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・総選挙の影響のためか12月初めの売上は良くなかったが、選挙以降、販売量は回復しつつあり、全体としては変わらない。

商店街（代表者）	販売量の動き	・先月までと同様に、売価千円以上と以下の割合は逆転したままであるが、差は開いていない。また、300円以下の小物商品の動きが良くなっている。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・このところ、悪い状態が続いている。良くなる可能性もない。
一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・天候等の影響により切り花の価格が高騰したものの、迎春用によく売れている。墓花や仏花に関しても、高くても買ってくれる客がほとんどであり、スーパー売りの花もますますである。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客の様子を見ると、3か月前と変わらない。贈答品用にお金を使える客と使えない客との間で、二極化が進んでいる。良くなっている客と悪くなっている客は同程度であり、平均すると変わらないという不思議な状況である。
一般小売店〔自然食品〕（経営者）	お客様の様子	・正月気分はあまり見られない。必要最小限で済ますという雰囲気客が多くなっている。
一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・総選挙後、客が目立った動きはまだ見られないが、かすかに上向き雰囲気は感じられる。客の様子を見ると、これから徐々に良くなっていく感じがする。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・総選挙の影響のためか、歳暮・ギフトの受注は例年よりもスローペースであった。しかし、受注は月中旬以降も続き、結果的にはほぼ前年並みになっている。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・主力の衣料品が不振である。宝飾品や美術品といった高額品は、一進一退である。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・気温が低下してきたにもかかわらず、衣料品の動きは鈍いままである。しかし、プレセールを行ったショップでは、若干持ち直している。歳暮商戦については、数量、単価共に下落傾向である。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・11月に好調に動いていたお歳暮、クリスマスギフトやケーキの販売、受注は、12月には非常に厳しくなり、期間合計で見ると前年並みに終わりそうである。特典付きの早期購買が多いことは、割引やプレゼント特典の増加、ひいては経費の増加につながる。購買マインドは、まだまだ弱い状態が変わっていない。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・ボーナス、クリスマス時期であるが、前年と比べて変化はなく、いつもと変わらない。
百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・海外特選ブランドや宝飾品の一部に動きが見られた一方で、婦人、紳士共に衣料品の動きは鈍く不調である。単価も下落傾向にあり、全体としては変わらない状況が続いている。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・来客数や買上客単価はやや良くなっているが、売上は減少している。その要因は、買上客数の減少にあると考えられる。歳暮・ギフトでは、買上客数よりも販売個数の減少のほうが大きい。全般的に贈り先の絞り込みが見られる。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・小売店、飲食店は、持ち直している店とそうでない店とに分かれている。売上は、総じて減少している。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年同月比98%前後と、低迷が続いている。単価の低いセール企画時には売れるが、平常時の動きは悪い。低価格になった時にしか買わない傾向が強い。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数はさほど減少していないが、売上は依然として増えてこない。その原因として、消費者が購買により慎重になっていることが考えられる。
スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価は、まだ下げ止まっていない。どこまで下がるのか、不明である。買上点数は増加しているが、単品単価の下落によって、客単価も低下している。
スーパー（店員）	販売量の動き	・商品の買上量は非常に少なく、余分に買わない傾向が続いている。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・今月も前年同月をクリアできていない。前年同月比3ポイントほどのマイナスが続いている。
スーパー（支店長）	お客様の様子	・相変わらず、財布のひもは固い。低価格の商品しか売れていない現状である。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・悪い状態が続いている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・各店舗の売上は、前年同月を下回っている。衝動買いを避ける傾向にある。

コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は、前年割れが続いている。コマースを打って一時的に客が来ても、長続きはしない状況にある。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・売上の前年同月比の改善度合いと比べて、客単価の改善度合いのほうが低くなっている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・年末という感じがしないまま、年の瀬を迎えている。今年はボーナス需要も全くなかった。路面店では得意客だけであったと実感している。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・洗濯機などの白物家電は伸びているが、パソコンやテレビが悪い。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・3か月前もあまり良くなかったが、現状もあまり変わり映えがしない。客の動きは前年同月と比べると良くなっているものの、客が欲しがらぬ高単価商品がないため、単価は前年同月を割り込んでいる。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、客は出費に慎重な様子である。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・販売量の動きを見ると、この2～3か月間であまり変わっていない。
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・前年同月と比較して、販売台数の目標を大幅に少なくしている。それでも、当店では何とか目標を達成できているものの、達成できていない店舗もかなりある。会社全体では、かなり厳しい販売台数になっている。
乗用車販売店（従業員）	それ以外	・例年、12月はそれほど良い月ではないが、今月は良くも悪くもない。全体的に買い控えのためか、売上は例年並みかやや少ない。景気は横ばい、または良くないのいずれかであるが、判断が難しい状況である。動きは少ない。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・取得税や重量税が減税される車種の売行きは良いが、それ以外の車種ではかなり落ち込んでいる。客と話しても、維持費の安い車にばかり関心がある様子である。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車は全然売れていない。そのため、景気は悪くなっているとも思うが、クリスマス、年末ということもありデパートに行くのにぎわっているため、どちらか分りにくい。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・年末需要は、思ったほど伸びていない。不安定感はあるが、変わらない。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・今夏以降、日中韓の領土問題で訪日外国人数は激減していたが、徐々に戻りつつある。また、インドやタイからの訪日が増えて、宿泊人数は確保できている。一般宴会については、政権交代によって今後の利用が減っていく政党と、元気が出てきて利用が増えそうな政党の動きが、少し見えている。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・例年ならば年末はもう少し売上が伸びるはずであるが、今年はあまり伸びていない。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・政権交代後の景気状態は、まだ把握できていない様子である。相変わらず、旅行する客と支出を抑える客とに分かれている。
タクシー運転手	来客数の動き	・年末のボーナス時期は最も忙しい時期であるが、今年は空車のタクシーが途切れたことは3～4回しかない。前々年や前年と比べても、やや悪い。また、繁華街での酔っぱらい客も少ない。
通信会社（営業担当）	それ以外	・政党間の争いにひとまず区切りが付き、多くの人々は日本の将来の新たな舵取りに対して期待と不安を持っている。確かな動きはまだ感じ取れない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・冬季シーズン早々に降雪という恵みもあり、環境的には申し分ない。しかし、来場者数は伸びていない。
観光名所（案内係）	お客様の様子	・総選挙の結果、政権交代することになり、月末は少し物人も動いている様子である。ただし、全体的には様子見である。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来場者数は前年同月と比べて増えており、売上も前年同月より好調である。予算目標に対して、現時点の来場者数、売上は共に少し足りていないが、ここ2～3か月間で見るとそこそこである。
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・売上が良い会社と悪い会社とに二分化している。営業の仕方や広告の打ち方で、差が出ている。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・いまだに、消費税増税に対する切迫感が出ていない。

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・横ばい状態である。
	その他住宅〔不 動産賃貸及び売 買〕(経営者)	競争相手の様子	・不動産売買では、成約件数や成約価格の動きは近年 とあまり変わらない。同業他社でも、1千万円前後の 仲介が大半であり、大規模開発等の話題はない様子で ある。
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・手を変え品を変えやっているが、来客数は少なく、 販売量や売上の増加につながってこない。
	一般小売店〔高 級精肉〕(企画 担当)	販売量の動き	・選挙があるとギフト市場は悪くなるとの経験則どお り、前年同月の売上には達していない。
	一般小売店〔食 品〕(経営者)	販売量の動き	・人出が多く商品の動きも活発なのは、例年通りであ る。売上の見通しも、前年同月並みに収まる。
	百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・12月の前半はお歳暮を買いに来る客があり、来客数 はそれなりにあった。ボーナスの支給後は、自分の物 を買う客で、少し売上があった。しかし月後半は、厳 しい状況が続いている。
	百貨店(販売促 進担当)	販売量の動き	・年末の歳暮商戦、クリスマス商戦共に、個人向け商 材は堅調に推移している。しかし、外商客、上客の買 上動向が低調である。中小企業の景況の悪化が感じら れる。
	百貨店(販売担 当)	単価の動き	・ギフトの単価が下がっている。
	スーパー(経営 者)	お客様の様子	・寒さが厳しいため、冬物の売行きはまずまずであ る。しかし、正月を控えているにもかかわらず、衣料 品等は12月下旬から値引き合戦が厳しく、5割引が 続々と出ている。ガソリンスタンドでも、原価が上 がっているにもかかわらず、値引き販売をしている。 地元の中小企業の経営者は、売上が増えておらず利益 も出ていないため、年末の資金繰りに大変苦労してい る。全体的に、景気はまだまだ良くない。
	スーパー(店 長)	販売量の動き	・クリスマス商戦では、当日販売のクリスマスケー キの販売量が大幅減であった。当ショッピングセンター 内の洋菓子店でも、同様の結果とのことである。ただ し、低価格のショートケーキは、早い時間に完売して いる。客は、お金を掛ける部分と掛けない部分に関し てシビアになっている。
	スーパー(営業 担当)	来客数の動き	・単価の低下はもちろん、来客数も若干減少してきて いる。ここにきて寒さが厳しくなったことも、来客数 の減少に影響している。景気は依然として低迷してお り、政権交代による効果を期待したい。
	コンビニ(店 長)	お客様の様子	・電気代の値上がりや消費税増税等を控えて、客は無 駄な買物をしない動きになっている。
	家電量販店(店 員)	単価の動き	・とにかく、客は必要な物、安い物しか買わない。前 年と比べると、単価は1割5分ほど低下している。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・例年と同様に、年末の動きは鈍っている。新年早々 の新車発表展示会に期待している。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・エコカー補助金の終了に伴う反動減が出ている。
	その他小売 〔ショッピング センター〕(営 業担当)	来客数の動き	・来客数、販売量共に少ない。
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・例年12月は、1年間で最も人出が多くなる時期であ る。しかし今年の売上は、寒波や総選挙による影響の ためか、オープン以来27年間で最低である。ボーナス が減った会社も多いと聞く。先行き不安な状態が続く なか、団体客はほとんどない。財布のひもはますます 固くなる一方であり、売上は増えない。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊者数は前年同月比90%止まりであり、悪化して きている。
都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・秋以降、宿泊は前年同月比で減少している。忘年 会、新年会も振るわない。ただし、レストランは年末 年始の個人需要が良好である。	
都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・電機や自動車の製造業を中心に、各企業の業績が反 映されてきている。交際費を中心に、削減傾向にある と思われる。	
旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・年末年始の旅行は例年並みかそれ以上に販売できて いるが、1～2月の見込み客が少ない。年明けの動き は不明であるが、現時点ではやや悪くなっている。	

		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・旅行業では選挙がある月は動きが悪いと言われているが、今月の当店の動きもそのとおりである。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・年末で忙しい時期なのに、客は来てくれない。
悪くなっている		コンビニ（店長）	販売量の動き	・競合店が新規出店したせいもあるが、クリスマス、歳暮商品が大きく落ち込んでいる。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が激減している。ファッション品は、ベビー、子供、婦人、紳士のすべてで落ち込んでいる。
		その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・客単価は3か月前と比べて落ち込んだままであり、売上も伸び悩んでいる。ただし、経済、政治が安定すれば、消費マインドの回復につながる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・企業関係者が多い平日の来客数のみならず、家族客が中心の日曜祝日の来客数も、前年同月を下回っている。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・ホテルのレストランの来客数が減っている。居酒屋など様々なサービス業では、単価が低下している。外食が減り、家庭内での食事が増えている。駅の高架下で朝7時から夜中1時まで開店しているスーパーは、繁盛している。その一方で、そのスーパーの開業以前に繁盛していたコンビニは、スーパーの開業後半年も経たずに閉店に追い込まれている。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価が良くない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・総選挙もあったが、やはり将来不安のためか、客はお金を使わない。
		美容室（経営者）	それ以外	・美容院を始めてから54年になるが、今月ほど客入りが悪いことは初めてである。気候や客の高齢化も影響していると思うが、今までで一番暇である。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・景気の良い話はまだまだ聞かれない。収入はどんどん落ちており、給料も払えない状態である。
企業動向関連 (東海)	良くなっている			
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・総選挙後は、受注量、販売量共に増加傾向にある。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の復興需要が底上げになっている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・スマートフォン向けの部品用に、銅を溶かすための耐火物の受注が堅調に推移している。その他の製品は前年同月比で2割ほど少ないが、その分を十分にカバーしている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注見込み量は、上向きで推移している。
		電気機械器具製造業	取引先の様子	・取引先の設備投資計画を見ると、以前と比較して前向きの姿勢がうかがえる。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産財系の物量が増えてきている。悲観的な見通しが少し和らいでいる。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは、受注が増加している。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・年末に向けて株価が上昇し為替も円安方向にあることから、個人の投資が戻りつつある。企業は依然として慎重な面があるものの、個人の投資は増えてきている。
		企業広告制作業（経営者）	それ以外	・新政権による景気対策への期待が大きい。
変わらない		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・デフレ傾向は依然として続いており、恒常的な原材料高との板ばさみで、厳しい状況が続いている。経費削減によるコストダウンにも限界がある。新政権による金融政策に一縷の望みを掛けたい。
		化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新政権が誕生して一時的に株高、円安傾向になっているが、課題は山積しており、今後も不透明である。また、生産財メーカーでは、影響は消費財メーカーよりも3～6か月遅れることもあり、受注に変化は出ていない。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車や家電などの製造業で、動きが活発になる見込みはない。国内需要が落ち込んでいるため、受注量、販売量共に前年同月比で10%以上減少している。

金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・忙しい部分もあるが、先の仕事が見えているわけではない。また、低価格受注が収まっているか、まだ見極められない。	
電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・やや円安方向となり、受注は安定してきている。売上も、予算目標に近付いてきている。	
電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・欧州の債務危機や中国の問題は改善しておらず、売上の回復も当面期待できない。	
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の生産計画は、増産傾向にある。	
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・戸建て、マンション共に、モデルルームへの来場者数、契約の動きに一服感が出てきている。	
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて輸出が減り、輸入は増えている。貿易は双方向でプラス・マイナスがあるが、東海地域の経済は輸出依存型であり、輸出が経済をけん引する。輸出が減少している現状は、良くない。	
通信会社（法人営業担当）	それ以外	・新政権への期待から、円安、株高になっている。2%のインフレ目標、10兆円規模の補正予算等々の経済対策への期待は大きい。ただし、効果が出るまでには時間が掛かる。	
金融業（従業員）	取引先の様子	・ここ半年間ほど、自動車産業が良くなく、今後の状況もなかなか読めない。現状が悪い分、少しでも回復すれば景気回復を見込めるが、現時点ではどちらともいえない。	
不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・問い合わせ件数や物件の照会件数が少ない。	
不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・円安や政権交代等によって景気が良くなるという実感は、特にない。今後もそのようなことはない。	
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・客によっては、印刷部数や配布地域を少しずつ減らし始めている。	
新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・サービス関係のチラシが、20%減少している。大半がパチンコ店であり、回復するかどうかは微妙である。	
会計事務所（職員）	取引先の様子	・3か月前の予想では、サラリーマンの賞与はもっと悪くなるとの見方が大半であったが、政権が変わり期待感が出たためか、下落率は小さくなっている。ただし、サラリーマンの給与、賞与が増えるまでには、相当時間が掛かりそうである。下げ止まりつつあるという程度で止まっている。	
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・新しい商品や製品の開発に成功した企業では順調に売上を伸ばしているが、これまでと変わらない営業をやっている企業や、取引先が従前と変わらない企業では、厳しい状況が続いている。特に自動車関係では、発注が少なく苦戦している。	
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・どの業者でも、特定の技術者の不足感は相変わらず続いている。ただし、二次下請以下の業者では、空き要員が出始めている。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・政権交代により、大きく円安に振れている。ただし、お金は広く大衆に行き渡ってこそ意味があるため、デフレから簡単には脱却できない。	
やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月に消費が冷え込んだ影響もあり、12、1月に広告経費を削減する客が出てきている。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・尖閣問題が発生して以降、中国向けがまだ回復しておらず、低位で安定している。
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上の3か月前比は、今回はマイナス4.5%となったが、前年はマイナス12.1%であったため、比較すると7.6%ポイント良くなったように見える。しかし、前年同月比で見ると今回は89.5%であり、非常に大きく落ち込んでいる。
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・毎月末にトラックの燃料単価について石油販売会社8社と交渉するが、各社共に重油、軽油の燃料の売行きは良くないとのことである。産業用の車両や工業で使う軽油が売れていないことは、稼働率が低いということの表れである。

		公認会計士	受注量や販売量の動き	・尖閣問題の影響により、自動車関連企業の受注量は前年同月比でも減少傾向にある。
悪くなっている		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・尖閣問題の後に、主要取引先では中国向け部品用梱包資材の発注が大幅に減少し、3か月経過した現在でも回復していない。周囲の同業他社でも、同様に悪化しているようである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設機械、工作機械等は、中国問題の影響で需給バランスが崩れたままである。ある建機メーカーでは、販売量が70%も減少している。回収率も50%減少しており、キャッシュフローがひっ迫している。その下請会社では、より大変な状況にあると推察される。中国プラス1が進まない限り、今の不況は改善しない。そうした方向を促進する必要がある。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・とにかく、動きは全くない。電話等もたまたま掛かってくるという感じであり、早々と年末年始の休みに突入している感がある。来年が心配である。
雇用関連 (東海)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・法人関係の忘年会利用が好調であったため、求人数は増加している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・紹介事業部門の業績が好調である。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・政権交代に伴い、円安、株高が進行している。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・政権交代、株価上昇や円安への期待感により、海外向けの製造業を始めとした経済界の動きが活発化していく兆しがある。
		人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・派遣労働者の長期稼働者数は増加傾向に転じており、3か月前と比べて5%増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設、小売、福祉関係の求人数は、前年同月比で増加を続けている。事業主都合による離職者も落ち着き、横ばいであった有効求人倍率も上昇に転じている。
変わらない	人材派遣会社（経営企画）	それ以外	・客からの需要はおう盛であるが、転職市場が活発で競争が激化しており、人材の増加が図れない。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数の動きはそれほど変わらないが、求職者がほとんど出てこない状態も続いている。	
	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・自動車生産台数や求人数等は、横ばいである。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・市場は、新政権の景気対策に期待している様子である。	
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・円高等の要因により、生産量が20～30%減少している自動車部品製造業等の事業所もあり、製造業を中心に新規求人数は減少している。製造業を中心に雇用調整助成金等の相談が増加している。一方、介護・福祉関係等では、団塊の世代など今後増加する高齢者への対応として、介護施設を増設したり新設したりする事業所も増えている。保育施設を併設するなど、介護関係の求人とともに保育士の求人も増加している。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・改正労働者派遣法の影響もあり、各業界では人材派遣の活用を手控えている。また、改正労働契約法の影響で、契約社員やパートの採用も手控えられているなど、雇用の創出機会は減ってきている。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・周辺企業からの派遣の引き合いが減っている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・8月以降、求人数は前年同月を下回る傾向が続いている。減少幅は小さいが、製造業等の正規雇用の求人数が減少している。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・電機関連や自動車など輸送用機器関連の企業で、円高に伴う海外シフトの影響により、会社都合による離職が増加している。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は減少傾向にあるが、業績の悪化からより良い条件の転職先を求める正社員、契約の不更新や打ち切りを気にする非正社員など在职中の相談者が目立つようになっている。求人数は増加しているが、正社員求人の比率は43%と縮小傾向にある。内容的にも即戦力を求める案件が多く、マッチングしにくい状況にある。失業状態の長期化が懸念される。	

	職業安定所（次長）	採用者数の動き	・季節要因があるため判断は難しいが、今月の採用者数は例年の推計値と比べて落ち込んでいる。求職者数の前年同月比は増加に転じたにもかかわらず、採用者数は伸びていない。
	民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・自動車関連業界では、下期の売上予測が不透明であるため、中途採用や外部人材の活用をストップする動きが見られる。
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・新規求人数は減少傾向にある。採用計画の見直しも出始めている。
悪く なっている	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・フルタイムの求人数は、ほとんどの産業で減少している。特に建設業、製造業、医療・福祉業での減少が目立つ。一方、パート求人は、医療・福祉業、サービス業が増加している。これまで景気の影響が少なかった医療・福祉業で、フルタイム求人を抑えてパートで補おうとする動きがあり、景気は一段と悪化している。